

深谷市

システム評価及び相談役業務委託に係る

情報提供依頼書

(RFI: Request For Information)

令和8年2月

深谷市企画財政部 ICT 推進室

1. 背景・目的

深谷市の ICT 投資額は、年々増加傾向にあり費用抑制と妥当性評価が急務となっています。現在は、システムの新規導入や更改に関して職員が情報セキュリティレベルの確認・導入妥当性・金額評価・交渉・代替案提示（以下、システム評価という。）を各所属から提出されるシステム企画書（様式 01）を基に実施しています。しかし、システム評価の実施には、高度なデジタルスキルが必要で業務量が増大しています。

そのため、システム評価の実施にあたり外部専門機関を相談役として委託し、3 年契約で伴走支援を受けたく情報提供を依頼します。

2. 件名

深谷市システム評価及び相談役業務委託

3. 委託業務範囲

導入妥当性評価：費用対効果分析、便益評価、コスト削減効果検証

金額妥当性評価：市場価格比較、ベンダー価格調査

値引き交渉支援：契約条件の最適化、長期契約によるコスト削減

代替案提示：クラウド移行、共同調達、代替案

固定費抑制戦略：資産棚卸し、更新時期統合、ライセンス最適化

情報セキュリティ評価：安全性、可用性、完全性の評価

4. 提供いただきたい情報（質問項目）

- (1) 貴社の過去の実績（ICT 資産全体の評価・交渉支援事例）
- (2) 実績詳細（類似契約における削減率、システム評価件数、代替案提示数など）
- (3) 3 年契約での伴走支援体制の有無
- (4) 費用（年間委託費と内訳）
- (5) 専任チームの配置可否、ベンダーニュートラルな提案経験
- (6) その他独自提案

5. 契約条件の想定

契約期間：3 年間（令和 9 年 4 月から）

成果指標：ICT 固定費削減率、代替案提示数、交渉成功率

6.システム評価スケジュール

次の日程（目安）で、対象システムがある場合のみ実施します。

項目	当初予算	6月補正	9月補正	12月補正	3月補正
システム企画書作成依頼	8月8日	2月8日	4月26日	7月12日	10月9日
システム企画書提出期限	9月19日	3月20日	6月5日	8月21日	11月18日
ICT推進室評価開始	9月22日	3月23日	6月8日	8月24日	11月21日
ICT推進室評価完了	10月10日	4月11日	6月27日	9月12日	12月10日
内部決裁期日	10月16日	4月17日	7月3日	9月18日	12月16日
財政課提出締切	10月17日	4月18日	7月4日	9月19日	12月17日
財政課最終締切	12月2日	4月29日	7月21日	10月13日	1月8日

7. 令和7年度のシステム評価実績（毎年10件前後）

実施時期	件名	内容
R7.4	校務支援システムの更改	市内29校で利用していたオンプレミスの校務支援システムを、フルクラウドの校務支援システムへ更改
R7.7	図書館システムの更改	インターネットクラウドサービスの図書館システム入替
R7.8	消防団管理アプリ導入	消防団員の現状把握や出動支援の通知を一元的に管理できるアプリの導入
R7.9	文書管理システムの更新	電子決裁用の文書管理システム更新
R7.9	小中学校校務用ネットワーク保守運用18ヵ月延長業務	市内29校のネットワーク機器に関する保守業務の延長
R7.9	教育NW冗長化およびセキュリティ強化業務委託等	市内29校の複合機追加に伴うF/Wの設置業務
R7.9	教育・保育施設等給付業務管理システム導入	市と保育施設間の連絡と給付業務を一元的に管理するクラウドシステムの導入
R7.9	保育所入所選考システム導入	保育所の入所の優先順位を自動的に算出し入所施設を選考するためのシステムの導入

8.提出方法・期限

提出方法：電子メールでデータ（PDF）を提出

提出期限：令和 8 年 3 月 31 日（火）

提出先：11.RFI 担当窓口

9.本 RFI に関する質問

本 RFI に関して質問がある場合は、11.RFI 担当窓口まで電子メールにてお問い合わせください。質問受付期間内に受けた質問をまとめて、回答期限内にメールで回答します。

- (1) 質問受付期限 令和 8 年 3 月 13 日（金）
- (2) 深谷市質問回答期限 令和 8 年 3 月 18 日（水）

10.注意事項

- (1) 提供内容について、後日問合せを行う場合があります。
- (2) 提供資料の返却は致しません。
- (3) 情報提供の有無は、今後のいかなる委託業者選定等にも影響を与えません。
- (4) 情報提供の内容は、今後の調達における仕様書等に反映する場合があります。

11.RFI 担当窓口

所在地：〒366-8501 埼玉県深谷市仲町 11 番 1 号

所属：企画財政部 ICT 推進室

担当：齋藤、小此木、飯野

電話：048-574-8563

Email：joho@city.fukaya.saitama.jp

記載例

【様式 01】システム調査表様式

番号（ICT推進室記入欄）

システム企画書

作成日：令和 年 月 日

所管課	ICT推進室 ICT推進係
	担当者名： 電話（内線）：

深谷市デジタル化推進計画の位置づけ	テーマ1 多様なライフスタイルに対応した利便性の高い行政サービスの実現 <input type="checkbox"/> 1. 行政手続きの原則オンライン化 <input type="checkbox"/> 2. 窓口手続きのシンプル化 <input type="checkbox"/> 3. デジタルを活用した行政サービス テーマ2 デジタル技術を活用して効率的な行政運営の実現 <input type="checkbox"/> 4. 業務のデジタル化 <input type="checkbox"/> 5. システムとネットワークの最適化 <input type="checkbox"/> 6. デジタル技術を活用し業務に生かせるDX人材の育成
事業名	グループウェアシステムの更改
サービス・システム名	グループウェア・文書管理システム・ファイルサーバー
導入区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> リプレース（更改） <input type="checkbox"/> 既存改修 <input type="checkbox"/> 既存更新（機器の入替）
導入・更改等スケジュール	開発開始：令和8年度 導入開始：令和9年度 運用開始：令和9年度
システム化等の必要性	（例えば 国等の委任事務、法の定めがある等、義務的かどうか）

記載例

	<p>特に法の定めはないがグループウェアが主に有している機能は、近年業務を効率よく進めるには必要不可欠な機能となっているため、現在もシステムを導入して活用している。</p> <p>現行システムは、主に電子メール、電子掲示板、スケジュール、施設予約、共有キャビネットという機能だけだったが、新たなシステムには、電子化が進んでいる文書を効率よく管理する文書管理システムと、電子データ(文章)を、そのまま保存できるファイルサーバの機能を兼ね備えたものを導入し情報共有や業務の効率化だけでなく、適正な行政文書の管理も可能になるため。</p>		
費用対効果 (概算)	初期投資		効果 削減見込み(想定)や導入効果 グループウェアに、文書管理システムとファイルサーバ(各課で購入しLANDiskに保存しているデータ)を、一括してクラウド形式で管理することで、今までバラバラだった、電子文書を一括管理でき、5年間のトータルコストも削減できる。
	・開発経費		
	・機器整備経費		
	・その他		
	小計	500万円	
	運用経費	500万円	
	・システム保守料		
	・機器保守料		
	・ソフト保守料		
	・その他		
小計	3,000万円		
合計	3,000万円		

システム導入の目的

ニーズ、要望等

組織全体の情報共有がスムーズにできるツールが必要

誰に働きかけるものなのか(ターゲット)

主に職員

何を目指すのか

情報の交換や共有、またスケジュール管理等の業務に利用される様々な機能を通じて、業務の効率化を目指す

他のシステムや業務との関連性

パッケージシステムで、グループウェアに文書管理及びファイルサーバ機能を有しているシステムがあるため、今回の更改で3つの機能を1つのパッケージで調達する。

現在の問題点の把握

どこに原因があるのか

現在使用しているグループウェアでは、インターネットエクスプローラのバージョンアッ

記載例

ブに対応できず、近い将来使用できなくなる。

代替手段の検討結果（今回の要望以外の方法）

権限移譲、アウトソーシング、業務の廃止等で目的を達成できない理由等を記載してください。

現行システムのバージョンアップが用意されていない。後継のグループウェアは、販売されているが文書管理及びファイルサーバ機能は有していないため、経費をかけて導入する効果が乏しい

システムの概要について

どのようなネットワークで利用するのが最善と考えられるか

マイナンバー利用事務系ネットワーク

（標準準拠システム 総合行政システム 個別システム）

LGWAN 系業務ネットワーク

インターネット系業務ネットワーク

独立ネットワーク

アウトソーシング

その他（)

システム構築の概要

システムイメ 別紙 ベンダー等の資料 パンフレット

ージ図等 その他（)

システムの仕様・機能

汎用的な技術にて達成可能か

パッケージソフトを利用

地域情報プラットフォームに準拠している

ノンカスタマイズ

カスタマイズが必要（程度：小 中 大 システムの根幹に影響あり）

特殊ハードウェアの利用が必要（ハード：)

独自アプリケーションの開発が必要

その他（)

導入形式

使用料形式

買い取り形式

バージョンアップの考え方

無償（無償の範囲：**システムの根幹に関わるものを除く**)

有償

周辺環境の検討・対策について

記載例

調達機材の設置スペースは確保しているか <input type="checkbox"/> クラウドサービスを利用 <input checked="" type="checkbox"/> データセンター利用 <input type="checkbox"/> システム所管部門設置 (<input type="checkbox"/> サーバ <input type="checkbox"/> パソコン) <input checked="" type="checkbox"/> 電算室 (<input checked="" type="checkbox"/> サーバ <input type="checkbox"/> パソコン) <input type="checkbox"/> 既存サーバに構築 (サーバ名 : _____)
必要な供給電源は確保しているか (サーバ、パソコン、全ての容量を確保) <input type="checkbox"/> 確保している <input checked="" type="checkbox"/> 確保するため工事が必要 <input type="checkbox"/> 既存流用

先進事例

団体名 : 沖縄県 春日部市 伊奈町 費用 : 構築 _____ 円 保守 _____ 円/年 効果 _____
--

ICT推進室記入欄

評価	A. 導入又は運用は適切である。 B. 導入時期や内容の再検討が必要である。 C. 導入又は運用を中止すべきである。
コメント	

番号（ICT推進室記入欄）

システム企画書

作成日：令和 年 月 日

所管課	課 係
	担当者名： 電話（内線）：

深谷市デジタル化推進計画の位置づけ	テーマ 1 多様なライフスタイルに対応した利便性の高い行政サービスの実現 <input type="checkbox"/> 1. 行政手続きの 原則オンライン化 <input type="checkbox"/> 2. 窓口手続きのシンプル化 <input type="checkbox"/> 3. デジタルを活用した行政サービス テーマ 2 デジタル技術を活用して効率的な行政運営の実現 <input type="checkbox"/> 4. 業務のデジタル化 <input type="checkbox"/> 5. システムとネットワークの最適化 <input type="checkbox"/> 6. デジタル技術を活用し業務に生かせる DX 人材の育成
事業名	
サービス・システム名	
導入区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> リプレイス（更改） <input type="checkbox"/> 既存改修 <input type="checkbox"/> 既存更新（機器の入替）
導入・更改等スケジュール	開発開始： 年度 導入開始： 年度 運用開始： 年度

システム化等の必要性	(例えば 国等の委任事務、法の定めがある等、義務的かどうか)	
費用対効果 (概算)	費用 (5 年分)	
	初期投資	
	・ 開発経費	
	・ 機器整備経費	
	・ その他	
	小計	
	運用経費	
	・ システム保守料	
	・ 機器保守料	
	・ ソフト保守料	
	・ その他	
小計		
合計		効果 削減見込み (想定) や導入効果

システム導入の目的

ニーズ、要望等
誰に働きかけるものなのか (ターゲット)
何を指すのか
他のシステムや業務との関連性

現在の問題点の把握

どこに原因があるのか

代替手段の検討結果（今回の要望以外の方法）

権限移譲、アウトソーシング、業務の廃止等で目的を達成できない理由等を記載してください。

システムの概要について

どのようなネットワークで利用するのが最善と考えられるか

マイナンバー利用事務系ネットワーク

（標準準拠システム 総合行政システム 個別システム）

LGWAN系業務ネットワーク

インターネット系業務ネットワーク

独立ネットワーク

その他（)

システム構築の概要

システムイメ

別紙 ベンダー等の資料 パンフレット

ージ図等

その他（)

システムの仕様・機能

汎用的な技術にて達成可能か

パッケージソフトを利用

地域情報プラットフォームに準拠している

ノンカスタマイズ

カスタマイズが必要（程度：小 中 大 システムの根幹に影響あり）

特殊ハードウェアの利用が必要（ハード：)

独自アプリケーションの開発が必要

その他（)

導入形式

使用料形式

買い取り形式

バージョンアップの考え方

- 無償（無償の範囲： _____ ）
 有償

周辺環境の検討・対策について

調達機材の設置スペースは確保しているか

- クラウドサービスを利用
 データセンター利用
 システム所管部門設置（ サーバ パソコン）
 電算室（ サーバ パソコン）
 既存サーバに構築（サーバ名： _____ ）

必要な供給電源は確保しているか（サーバ、パソコン、全ての容量を確保）

- 確保している
 確保するため工事が必要
 既存流用

先進事例

団体名：

費用：構築 _____ 円 保守 _____ 円／年

効果

ICT推進室記入欄

評価	A. 導入又は運用は適切である。 B. 導入時期や内容の再検討が必要である。 C. 導入又は運用を中止すべきである。
コメント	